



'85 ありす会総会開催さる

— 規約改正行う —

〈総会結果〉

去る、八月十一日母校開学記念館大会議室において五十一名の出席者により、ありす会総会を開催しました。この日、短大から安藤幼児教育科長・菅原教授・平野総務課長に出席していただくことができました。

越石会長のあいさつの後、安藤幼児教育科長より「今後のありす会員の益々の活躍を期待する。」とのあいさつをいただきました。

この後、ありす会報一頁に掲載いたしました総会次第に基づき、各議案の審議が行われました。経過・結果は次のとおりです。

▽昭和五十九年度事業報告について事務局より報告され、これを

ありす会会報

第 3 号



発行所

國學院女子短期大学
ありす会

〒073 北海道滝川市文京町3丁目1番1号
TEL 0125-23-4111(代)

承認した。

▽昭和五十九年度決算報告については、事務局より収入・支出の各科目毎に説明が行われた後、会計監査より会計処理等適正である旨の監査報告があり、これを承認した。(決算書別紙)

▽昭和六十年事業計画については、役員会・発行物の予定など提案し審議の結果、可決された。(予算書別紙)

▽規約改正については、別紙のとおり規約となった。(会報第一号規約とご参照下さい)

〈ありす会終身

会費について〉

規約改正により、会費は在学中に終身会費として、一万五千元を納める。＃ことになりました。

終身会費とした理由に、在学中に終身会費として納入されると活動計画をたてやすいことが第一に

考えられます。その他納入に関する業務・経費の軽減等もあります。終身会費とすることに伴い、一万五千元と大幅に値上げされることになりました。改正後の規約は四期生から適用されます。

現在のありす会員一、二期生は在学中に二千元の会費を納入、三期生(現二年生)は五千元の会費を納入しています。しかし、今回改正された終身会費一万五千元との差が多く、改正前の会費だけでは、今後の活動がややぶまれ、再度会費の納入が必要となってきました。具体例としては、会報の発送・総会通知等の連絡さえできない事態となります。以上のことから、事務局より「差額納入」(一、二期生一万三千元・三期生二万円)が必要ではないかと提案がなされました。総会出席者により協議の結果、差額納入について可決されました。又、その納入方法についても事務局に一任されました。

但し、総会出席者から、差額納入に対して、「総会出席者だけではなく、会員全員にはかってほしい。」という意見が出されました。この意見に対して、会長・副会長及び事務局員で話し合い、できる限り、会員の皆さんにご理解・承認いただけるよう、この会報により、掲載した次第です。

事務局では、納入方法についても一括納入の他に分割納入等の方法も考えています。

〈懇親会〉

同日、滝川ホテル三浦華園にて午後三時より、多数の教職員の先生方の参加を得て、開催しました。先生方を中心に話がはずみ、友達同志でもあちらこちらで話の輪ができました。先生のごあいさつでは、なつかしい(?)講義を思い出された方も多かったことと思います。ゲーム・歌などの催しも行われ、楽しい二時間は校歌で幕を



乾杯の音頭を取る大宮教授と青井美喜さん(二期生・国文科)

文京町だより



学長

田邊正男

皆さん、暫くでした。みのりの秋も、もう十月下旬、日増しに冷え込んでくるような此の頃ですが、潑刺と活躍のことと思います。

八月十一日、かねてありす会会報第二号に予告されていた総会と懇親会が催されたのに、八月一日から発病した思いがけない病気の

ために、欠席してしまい、誠に申し訳なく、何はさておきお詫び申し上げます。幸い、当日の出席者全員の顔、顔、顔、が見える三浦華園での記念撮影は、私の鞆の中に

在って、私は皆さんと共にあります。ありがとうございます。

十月十九日から三日間、

めざめー On the wing

のテーマのもとに、第四回ありす祭が催されました。昨年のテーマ

soaring ambition

を受けて、更に学生生活の目標を

はつきりと自覚し(「めざめ」、現に今、羽ばたいているのだ(「On the wing」という心意気を高ら

かに示したのが、今年のテーマではないかと思われまふ。その嬉しい証しを一つだけお知らせしまし

よう。

十月十一日から行われた北海道大学バレーボール連盟秋季リーグ戦、第二部で、本学は五試合全勝

しました。それも、一試合以外は全部2-0なのです。まるで向かうところ敵なしといった感じ。万歳！皆さんと共に喜びたいと思います。

最後に、ありす会の益々のご発展と会員諸君のご多幸を祈って止みません。

第1回 ありす会総会を終えて

会長 越石真樹

去る八月十一日のありす会総会は会員の方々のおかげをもちまして無事開催することができました。本当にありがとうございます。

去る八月十一日のありす会総会には会員の皆さんから御指摘のあった点などを含めまして、もっと皆さんに御理解いただける総会の運営をしていくよう努力してまいります。

ただ今回の総会において、以前総会の出席を知らせていただいた際に出席下さると御通知下さった会員の方々がけっこういらっしゃいました。にもかかわらず、当日総会の場にお見えにならなかったのはその約三分の二程の方々だったことも事実としてとらえていただきたいたいです。こちらといたしましては、人数に応じた会場や資料の準備をしています。しかし、それよりもおおいそがしい中遠方より総会のために足を運んで下さった他の会員の方々に對しての御配慮に欠けた方々がいらつしたことが今回少し残念に思います。

総会の後には三浦華園において懇親会が行われました。懇親会には会員の方々はもちろんですが、おおいそがしい中わざわざ御参加いただきました多くの先生方にも、この場をおかりいたしまして厚く御礼申し上げます。皆さん久しぶりの顔合せとあってたいへんにぎやかな会となりました。特に一期



ありす会の皆さん一人ひとりが 本学の将来をつくる

幼児教育科長 教授

安 藤 忠 吉



私は、時々國學院女子短大の卒業生は、しっかりしている。よく仕事をする。礼儀正しい等の大変嬉しい評価を耳にすることがあります。こういう評価は、我が事のようには嬉しいのです。しかし、反対に、國學院女子短大の卒業生は駄目だということでしたら、大変に悲しいのです。でも私は、こういったマイナスの評価を聞いたことはありません。

卒業生の皆さんの活躍を、我が事のように思うといいましたが、実は、それだけのことではないのです。それは、表題に掲げたように、「本学の将来」に深く関わることなのです。今度、採用した保母は、勤務態度も大変よい、子どもの取扱ひも適切で、環境の設定も見事だ。あの人は、どこの大卒だったかなあ。あの人は國學院女子短大の卒業なんだ。こういうように認識されると、本学の評価が上がることは間違いない

のです。これは、たった一人のことではなくて、國學院卒業生の全体につらなり好ましいイメージに広がっていくのです。そして、國學院女子短大の卒業生は、よくやるといふプラス評価が出来ていくのです。毎年毎年卒業し「ありす会」会員になる皆さん一人ひとりの活躍が、本学のイメージ作りをしているのです。

今、一期・二期生合せて約六百名が「ありす会」会員です。この皆さんの社会的評価のよしあしが、そのまま、本学の社会的評価に関係するだけでなく、これから皆さんに続く、後輩たちの就職にも多大の影響を及ぼします。さらにまた、本学への志願者にも関係してくるのです。

このようにして、皆さん一人ひとりのあり方が、本学の今日及び明日に深く関わっていることを、どうか自覚され、若い大学の基礎を固め、洋々たる将来を開いていくことを、今、私たちがやっているのだと認識して、それぞれの職場で元気に働いて下さい。

私たち職員は、卒業した皆さんが、より活躍できるように援助し応援します。

計時沙石

私の場合、つわりというものがそんなにひどくなかったので、妊娠初期の七ヶ月が過ぎましたが、一期生、二期生のみなさんは、それぞれ実社会で活躍され、充実した日々を送られていることと思います。

私は幼児教育科卒業後、幼児教育関係のほうには進まず、化学分析関係の仕事をして八ヶ月ほどした後、今年一月に結婚しました。結婚当初は何をやっても失敗ばかりで、よくきく「甘い生活」などというものはかけはなれていたような気がします。今では主婦？としての生活にもだいぶ慣れてきたように、何となく気持ちにも少しづつゆとりが出てきたように思っているのですが、今度はだんだんと無理や自由がきかなくなってきた身体(只今妊娠六ヶ月目)が自分の身体でないような違和感が生じてきました。一難去ってまた一難というところでしょうか。その反面、生命の不思議さを感じしと感じはじめたわけですが……

近況を少々……

1期生 幼児教育科 林 佳

由 (旧姓 三浦)



一枚一枚おむつを縫うたにおなかの中の赤ちゃんに対する愛情が強くなってきています。今、主人と赤ちゃんの名前を考えていますが、生まれてくる子が男の子であっても女の子であっても、素直で人をいつくしむことを忘れない子に育ってくれるようにと思っています。最後にになりましたが、母校及びありす会の益々のご発展をお祈りいたします。



第三回 ありす会(東京地区)によせて

二期生 国文科 吉田 千代子

先日、「第三回 ありす会(東京地区)」が行われました。東京でのありす会は、國學院大學の編入生を含めた二十名程の卒業生と、



多数の先生方にお集まりいただきなごやかなムードで会は進行しました。今回は初めて二期生も加わり、

國學院女子短期大学 幼児教育研究会発足

総会同日午前十時より、幼児教育科先生方の呼びかけにより、川守田助教授、大井講師が中心となり、卒業生三十名余りが出席して「國學院女子短期大学幼児教育研究会」が発足しました。

安藤幼児教育科長講話の後、研究会設立総会を開き今後の活動方針を決めました。その後、幼児教育科先生・滝川花月保育所長渡辺

会員だより

◎住所・姓の変更について

結婚・転居による姓・住所に変更のあった場合は、必ず事務局にご連絡下さい。



ありす会報について、掲載希望事項等ご意見・ご要望などをお寄せ下さい。

尚、会報の発行にあたり、ご協力下さいました皆様に心からお礼申し上げます。